

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2016年度第1回常任幹事会議事要録

日時：2016年4月15日（金） 14時～17時10分

場所：名古屋学院大学 名古屋キャンパス 希館511会議室

出席：中部大学（蓑島 智子）、愛知大学（中村 直美、島田美津穂）、  
名古屋女子大学（尾崎 友子）、同朋大学・名古屋造形大学（前田 利明）、  
愛知学院大学（足立 祐輔、藤岡 聖子）、中京大学（渡辺 英二）、  
名城大学（皆見 司朗）、日本福祉大学（佐藤 雅信、石川 宗臣）、  
名古屋学院大学（三井 哲、中田 晴美、矢澤めぐみ）

欠席：南山大学（関谷 治代）

敬称略

議事に先立ち、理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）の挨拶の後、会則に基づく本年度常任幹事校及び出席校の確認ならびに出席者の自己紹介があった。議事進行は理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）が担当し、下記の議題を協議した。

〈1〉2016年度東海地区協議会総会について

I. 総会議事次第

理事校名古屋学院大学（中田）より資料(p.1)に基づき、総会議事進行、内容等について説明があった。

II. 報告事項

1. 2015年度東海地区協議会事業報告

理事校（中田）より、資料(p.2～4)に基づき報告があった。

2. 2015年度東海地区協議会研究会事業報告

研究会委員長校愛知大学（中村）より資料(p.5～10)に基づき報告があった。

3. 2015年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議活動報告

幹事校名古屋学院大学（中田）より資料(p.11)に基づき報告があった。

4. 2015年度協会会務報告

(1) 協会関係事項報告

1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

理事校（中田）より資料(p.12～15)に基づき報告があった。

## 2) 2015 年度委員会報告

### ①協会賞審査委員会

協会賞審査委員校愛知学院大学（足立）より資料(p. 16)に基づき報告があった。協会賞には 2015 年度は 3 件の推薦があり、1 件が採択された。

### ②研究助成委員会

研究助成委員会委員長校名城大学（皆見）より資料(p. 16～17)に基づき報告があった。研究助成には 2015 年度は 3 件の申請があり、1 件が採択された。

### ③国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員長校中京大学（渡辺）より資料(p. 17～21)に基づき報告があった。海外集合研修は研修のあり方を検討中であったが、今後は取りやめ海外認定研修を拡大し、2016 年度は「ALA・米国図書館研修」を「認定研修の一つ」として試行的に位置づけるとのこと、また、国際図書館協力シンポジウムは、私立大学図書館協会総会・研究大会で講演会を開催することに代えるとのことである。

### ④協会ホームページ委員会

理事校（中田）より資料(p. 21～22)に基づき、IT アドバイザー導入、名簿管理システムの検討等について報告があった。

## 3) 私立大学図書館協会 2016 年度西地区部会総会及び研究会について

西地区部会理事校名古屋学院大学（中田）より資料(p. 23～24)に基づき案内があった。今回も館長懇談会は総会前日に設定される。

## 4) 第 77 回（2016 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について

理事校（中田）より資料(p. 25)に基づき案内があった。

## (2) 協会関連事項報告

理事校（中田）より資料(p. 26)に基づき報告があった。

## 5. その他

理事校（中田）より資料(p. 27)に基づき、「『館灯』投稿、編集及び公開に係る申し合せ事項」の改正について報告があった。

## III. 審議事項

### 1. 2015 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

理事校（中田）より資料(p. 28～30)に基づき決算（案）について説明があった。

研究会運営委員長校（中村）より資料(p. 31)に基づき研究会決算（案）について説明があった。

幹事校（中田）より資料(p. 31)に基づき、図書館管理・運営実務責任者会議決算（案）

について説明があった。

2015年度監事校中部大学（蓑島）より決算（案）について、本日4月15日に会計監査を行い、証憑書類等含め適正であると認められたとの報告があり、決算（案）を承認した。

2. 2016年度東海地区協議会役員校および委員校（案）  
理事校（中田）より資料(p. 32)に基づき説明があり、承認した。
3. 2016年度東海地区協議会事業計画（案）  
理事校（中田）より資料(p. 33)に基づき説明があり、承認した。
4. 2016年度東海地区協議会予算（案）  
理事校（中田）より資料(p. 34～36)に基づき説明があった。前回の常任幹事会（2015年度第3回）では今年度予算から広告掲載費を計上しないこととしたが、電子化移行時（2017年度）に切り替えることとしたいとの提案があり、承認した。  
また、J-STAGE 説明会出張は日程が総会前に設定されているので、総会の審議を待たずに出張旅費を執行することを了承した。
5. 2016年度東海地区協議会研究会事業計画（案）ならびに予算（案）  
研究会運営委員長校（中村）より資料(p. 37～39)に基づき、説明があり承認した。
6. 2016年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）  
幹事校（中田）より資料(p. 40)に基づき説明があり、承認した。
7. 2016年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等（案）  
理事校（中田）より資料(p41～43)に基づき説明があり、承認した。

## 〈2〉その他

1. 今後の東海地区協議会の活動および役員校の役割等について（継続審議）  
理事校（中田）より資料を基に提案があり、活動の方針や役員校の役割について意見交換した。種々議論の結果、以下の2点について改善し役員校の負担軽減を図ることとし、今後も引き続き検討していくこととした。  
① 理事校2年目は図書館管理・運営実務責任者会議（毎年）と東海地区大学図書

館協議会総会・研究集会が重なり、理事校業務の負担が大きい。東海地区大学図書館協議会研究集会で担当校として管理者向けの研修を提案することも可能であり、また、管理者の情報交換は総会後に行うこともできることから、図書館管理・運営実務責任者会議の事業については2017年度より実施しない方向で運営を進めていくことを全員一致で確認した。

- ② 東海地区大学図書館協議会の研究会を隔年で私立大学が担当しているが、役員校負担の軽減のため、年2回開催を年1回にすることを東海地区大学図書館協議会に要望する。

以上